

きぼうのいえ ニューズレター



2020年夏号

特定非営利活動法人 きぼうのいえ
〒111-0022 東京都台東区清川2丁目29番12号

電話：03-3875-7523 Fax：03-3875-7525
E-Mail：kibounoie777@mbr.nifty.com
ホームページ：http://www.kibounoie.info



迷惑の絆



理事長 下条 裕章

「人の世話になんかなるものか」と歯を食いしばる人がいる。また「わたしは、みんなに迷惑をかけて生きるんだ」と笑顔で語るスタッフもいる。わたしの中にあるきぼうのいえの情景の一コマです。でもこの二人、それまでの人生の歩みのなかで、「人様にはご迷惑をおかけしてはいけない」と散々言われてきたことは共通しているのです。だからこそ、でも…、こんな言葉がその口から発せられるのです。

人の世話にはならないといいながら、支えを要する人、みんなに迷惑をかけるぞといいながら、支える人。でも、支えられる人が支える人の力で笑顔を取り戻すだけでなく、支えられる人の一瞬の感動が、支える人を励ます大きな力、笑顔を保つきっかけともなっているのです。

素直に「迷惑をかけるぞ」と口にする人。それは、迷惑は単に不快なことではなく、大切な絆を結ぶきっかけにもなると知っている人だけが口にすることができる、大切な言葉なのかもしれません。

もし生まれたばかりの赤ちゃんが話せたとしたら、「ご迷惑を、お手数をおかけします」と挨拶し、あるいは「ご迷惑と手数を引き受けてください」と泣き叫ぶのかもしれませんが。この時、周りにそれを受け止め、あるいは「よし、よし」といって喜んでくれる人がいたらなんと幸せでしょう。生きることは、人に迷惑とお手数をおかけすることなのでしょうから。

「迷惑をかけないこと」が金科玉条となると、ことはやっかいです。生きてゆくに必要な絆を結ぶことなく暮らし、助けを求めることを学ぶ機会を失ってしまうかもしれません。更にこの不自由を自分だけに課すならともかく、他人にもということになればやっかいです。「あれは迷惑をかけるやつだ」と的的外れな排除を生み出すことにもなりかねません。迷惑を乗り越えて、絆を生み出す生き方をしてみませんか。自分がしてほしいと思うことを人にもしてみようという生き方の中に、新しい社会のヒントがあるように思う今日この頃です。

最後になりましたが、猛暑という言葉しか当てはまらないような日々を過ごすなか、感染症の収束の兆しも見えにくく、天候も不順、心配や不安の種も尽きることはないかと思いますが、どうぞみなさまには心と体の健康に一層お心がけ下さい。また、このたび念願の建物全面改修が完了しました。みなさまのご支援に心より感謝します。どうぞ日々を少しでも心やすくお過ごしにすることができますよう、心よりお祈り申し上げます。





よみがえった我が家

礼拝堂の屋根の破風も、嵐の度に一枚飛び、二枚飛び……。台風の時期になると不安でした。思いきっての外壁工事、タイル補修と外壁塗装、屋上の防水工事。工事の方々の精魂こめての仕上げに脱帽です。



居室や談話室の雨漏り。上からも横からも雨がしみてかびだらけのお部屋もありました。入居者の方には大工の棟梁あり、鳶の達人ありで監督の目がきびしい中、納得の仕上がりで、おみごと！ 感謝。

玄関も18年ぶりにお化粧直し。とてもきれいになりました。日々の笑顔と元気な声、天国に召された方は祈りと賛美の歌で送り出し、まさにきぼうのいえの凱旋門。全ての方々に心をこめて「いらっしゃいませ。」「ごきげんよう。」

感染症時代の新習慣



「シュッシュお願いしま〜す！」
今年の春以降、食堂で毎度聞かれるセリフです。「シュッシュ」というのは、手指消毒のこと。電子レンジを「チン」と呼ぶのに似ています。入居者は、食堂に出てくるとまず、手に消毒液をかけられます。「いただきます」の前の新しい習慣です。

食堂では、対面に座らないように、食事の呼び出しを時間差で行っています。



毎朝夕に入居者全員の検温を実施しています。おでこで測る体温計は、密かに「ピストル」と呼ばれています。

ソーシャルディスタンス



アルコール消毒



豆ひとつぶ

先日旅立ったFさんの遺品を整理していると、どこからか携帯電話の電子音が流れてきた。それはFさんが生前セットしておいたお知らせタイマーの音だった。見ると、「サラメシ」とある。働く人のランチを紹介するNHKのテレビ番組である。そうだ、Fさんは食べ物の番組がお気に入りによく見ていたなあ…と思いを馳せる。Fさんは食べることも大好き。入所した日の最初のおかずがひじきの煮物で、Fさんは「大好物だ！」と大喜び。手術で胃の2/3をとってしまった人とは思えない食べっぷりでペロリと完食。体の具合を訪ねると、「だいじょうぶだあ。」志村けんの口調で答えてくれた。Fさんのペロリ完食の日々は、そんなに長くは続かなかった。しかし、食事は入らなくても食べられるものはある。フルーツ缶やアイスクリームを一口、二口食べては「だいじょうぶだあ」と決めゼリフ。



亡くなる2日前、意識は朦朧、吸い飲みで水を含ませるのがやっと、という状態の夜のこと。ふいに「煮物が食べたい」と言い出した。ちょうど煮豆が残っていたので挑戦。豆一粒を食べ、一息ついた。

食べるのが大好きなFさん。

天国では好物に囲まれているはず。

「だいじょうぶだあ。」Fさんの声がした。



わが家のファッションリーダー



とある午後、きぼうのいえ最高齢のH子さんが事務所に登場。どうやら新しいアイテムを見せに来たもよう。プラスチック製のかわいいサングラスである。花の形のふちどりに、ビーズでデコレーション……おもちゃのようである。サングラスにマスク姿でなにやら怪しげではあるがお似合いだ。

おしゃれなH子さんのところには、各方面から服や小物（最近では色とりどりの手作りマスク）が集まってくる。それらを上手にコーディネートしてみせるH子さん。極端に女性入居者の少ないきぼうのいえに、華をそえてくれる存在だ。さて、ニューアイテムのお披露目も無事終了。おしゃべりしているうちにサングラスのことなどすっかり忘れてしまったH子さん、

「あれ?! なんだか暗くてみえないよ!」

暗くて見えないよ



NHK あさいちに出演しました



前ページにも登場したH子さんが、8月5日のNHKの「あさいち」に出演しました。題して「戦後75年 戦争中の‘働く女性たち’」
H子さんは、元芸人。浅草で舞台上がり、お座敷に呼ばれ、活躍していました。戦地を回る慰問団に加わり、兵士たちを励ましたことが取り上げられました。「お客さんを笑わすのが一番だったからね、私は芸が好きだったから。」

きぼうのいえに舞台を変えて、彼女の芸はまだ続く……

令和元年度決算報告書

※単位：円

＜収入の部＞		＜支出の部＞	
科目	決算書	科目	決算書
一般寄付金	24,000,984	人件費	24,713,577
教会寄付金	881,742	修繕費	1,615,308
受取助成金	9,408,000	厨房費	12,464,230
事業収益	33,907,847	水道光熱費	2,383,813
その他収益	247,865	その他諸経費	8,315,444
総計	68,446,438	総計	49,492,372

税引前当期正味財産増減額 18,954,066円

きぼうのいえでは、私どもの活動にご賛同頂ける皆様方に、ご支援・ご寄付をお願いしています。

振り込み方法は ①郵便振替、②銀行振込み、③インターネット募金 の3つがあります。

きぼうのいえの運営へのご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※ご送金にあたってのお願い：ご支援・ご寄付をくださった方がたのお名前の公表の可否をお伝えください。

① 郵便振替の場合

郵便振替番号：
00190-6-388670
名義：きぼうのいえ後援会

② 銀行振込の場合^(※1)

みずほ銀行 三ノ輪支店 普通
口座番号：1284037
名義：特定非営利活動法人きぼうのいえ

③ インターネット募金

ホームページからアクセスして、
カード決済することもできます。
<http://www.kibounoie.info/index.html>

● ※1 銀行振込の方で領収書が必要な方はメール等で連絡先をお知らせ下さい。

寄附金受領証明書の発行について

きぼうのいえは認定NPO法人です。

認定NPO法人に対するご寄付は、寄附金控除（税額控除）の対象となり、税制上の優遇措置を受けることができます。寄附受領証明書は、ご寄附の都度発行させて頂いております。寄附受領証明書の再発行はできませんので、ご了承ください。